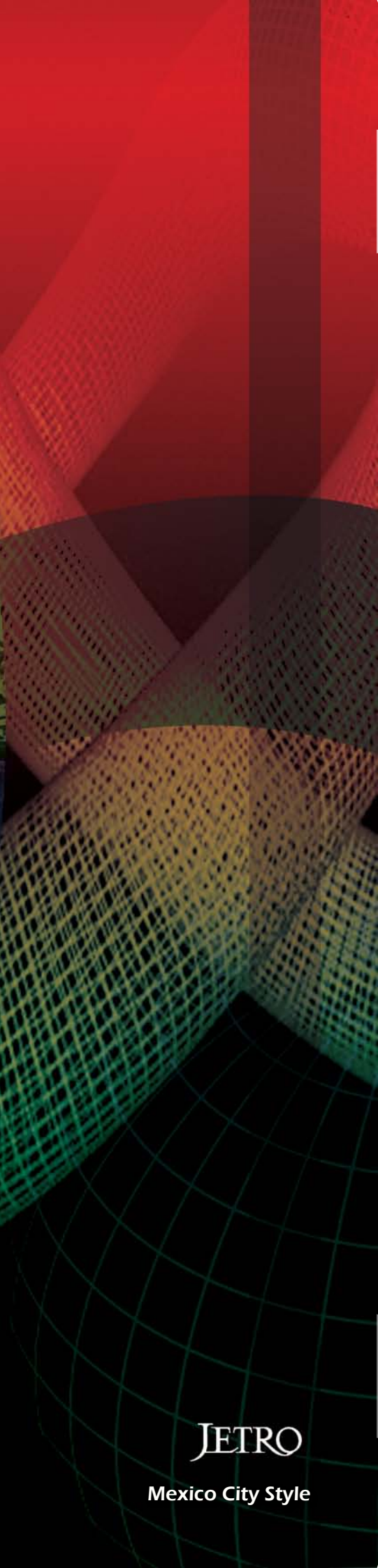




Mexico City Style

JETRO

Copyright © 2011 JETRO. All rights reserved.



メキシコシティのライフスタイル 「メキシコシティ・スタイル」のご紹介

メキシコは1億1,000万人を超える人口を有し、2009年の名目GDP総額は世界14位である。国内市場規模でも民間消費はロシアやインドにはほぼ匹敵し、ブラジルとともにラテンアメリカを代表する新興国である。

メキシコシティの人口は2010年央の国勢調査暫定値で887万人。周辺市町村を含めたメキシコ市首都圏でみると2,000万人を超える。中南米地域ではサンパウロと並ぶ大都市であり、メキシコの政治、経済、社会、文化の中心地である。メキシコ資本の大手財閥や外資系企業の本社が集まり、メキシコ進出日系企業約350社のうち約120社がメキシコシティに進出している。

広大なメキシコ市首都圏は、ユネスコの世界文化遺産に指定されている歴史地区からアメリカの都市を思わせる新興オフィス街サンタフェ地区などバラエティーに富んだ地区が混在している。大都市ならではの利便性があり、商業施設や娯楽施設も豊富だ。2009年にドイツ系市場調査会社に世界第4位のグルメ都市と評価された食文化の豊かな街で、伝統的なメキシコ料理を出すレストランのほか、イタリア、スペインなどの西洋料理店、アルゼンチン風ステーキ・レストラン、日本食レストランなども豊富だ。

「メキシコシティ・スタイル」は、「衣」、「食」、「住」、「余暇」、「ライフスタイル」の5つの側面において、現在のメキシコシティを豊富な写真を使ってビジュアルに紹介する。今後メキシコに進出する企業の方々、日本からメキシコシティに出張で訪れるビジネスパーソンの方々などに、メキシコシティの今を知る上で役に立てれば幸甚である。

2011年3月
ジェトロ・メキシコセンター







Copyright © 2011 JETRO. All rights reserved.

目次

Mexico City at a Glance

メキシコの基礎データ	1
メキシコシティの歴史	2
首都メキシコシティの重要性	3
メキシコ市民の購買力は?	4



Fashion

メキシコシティのファッション	05
メキシコ市民の着こなし	11
ショッピングセンター・モール内の風景	14
市内ショッピング街・店舗の様子	18

Food



メキシコシティの食事情	25
メキシコシティの日本食	31
伝統的メキシコ料理	34
グルメショップ・食料品店・スーパー	35
中央卸売市場	38
レストラン、屋台、軽食堂	40
メキシコの豊富な食材	45

Housing



メキシコシティの住環境	49
各地区の住宅風景・建築物	56
住宅のインテリア・家財道具	65
家具・家電・家庭用品店	69

Leisure



メキシコシティの余暇	71
スポーツ施設の風景	77
サイクリング・ジョギングロード	78
娯楽施設・公園	79
ナイトライフ	83
映画館・博物館	85
観光地・観光バス	87

Life Style

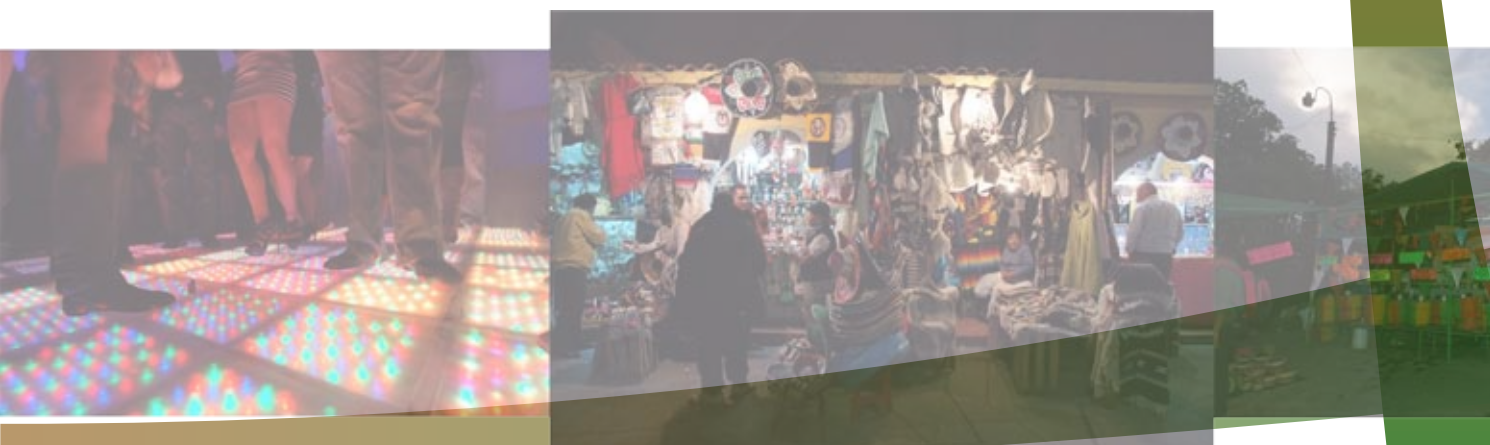


メキシコシティの生活	89
主要交通機関	95
銀行・ホテル・携帯電話・コンビニ	97
祭日・休日の風景	101

メキシコの基礎データ

社会	面積	196万4,375平方Km（日本の5.2倍）
	首都	メキシコ市（連邦区）
	言語	スペイン語
	宗教	キリスト教（ローマ・カトリック）が89.3%
	人口	1億1,132万2,757人（2010年国勢調査暫定値）
	人種構成	混血60.0%、先住民30.0%、白人9.0%、 その他1.0%（2000年）
	非識字率	6.9%（2010年）
政治	政体	連邦共和制
	国家元首	フェリペ・カルデロン大統領
	議会制度	2院制（上院128議席、下院500名）
	主要政党 （政権与党はPAN）	制度的革命党（PRI）、国民行動党（PAN）、 民主革命党（PRD）、緑の環境党（PVEM）、 労働党（PT）
経済	名目GDP額	1兆397億ドル（2010年暫定値，INEGI） 8,828億（2009年暫定値，INEGI） ※両年とも世界第14位
	1人当たりGDP額	8,134ドル（2009年，IMF） 9,243ドル（2010年推計値，IMF）
	通貨	ペソ（1ドル=12.105ペソ，2011年2月末）
	インフレ率	4.40%（2010年）
	政策金利	4.50%（2011年2月末）
	失業率	5.37%（全国2010年平均）
対日関係	メキシコの対日輸出額	19億2,324万ドル、国別8位（2010年）
	メキシコの対日輸入額	150億1,469万ドル、国別3位（2010年）
	日本の対メキシコ投資額 （在米日系企業経由を除く）	22億6,080万ドル（1999～2010年累計） （対内直接投資受入額の0.9%，国別第8位）
	在留邦人数	6,937名（2010年10月時点） （日系人 1万7,753人：2008年10月時点）
	在日メキシコ人数	約2,000人（2009年末）
	日系法人数	約350社（ジェトロ調べ，2011年2月）

出所：国立統計地理情報院（INEGI），経済省，中央銀行，日本外務省，ジェトロ資料など



メキシコシティの歴史

- 1325年：メシカ族がテスココ湖内のサボテンの花が咲く小さな小島で都市建設を開始。アシなどで作ったいかだの上に泥を盛り上げて作った畑「チナンパ」で小島の周辺を囲んでいき、1,000ヘクタールに及ぶ広大な都市を形成していった。都市はテノチティラン（「サボテンの花咲く地」と呼ばれ、25万人以上もの人口を有するまでに発展、16世紀には広大なアステカ帝国の首都となっていた。
- 1519年：スペインの征服者ヘルナン・コルテスがメキシコに到来。幾つかの戦いを経てアステカ軍は1521年8月13日にスペイン軍に完全に敗北。同年、現在のコヨアカン（Coyoacan）地区に市役所を建設。
- 1527年：スペイン政府がメキシコ王立司法院（行政府と司法府を兼ねる）を設置、議長と4名の裁判官、後に1名の副王を配置。初代副王のアントニオ・デ・メンドーサは1535年に着任。副王の配置と同時にメキシコシティはコスタリカ以北のスペイン支配地である「ヌエバ・エスパーニャ副王領」の首都となる。
- 1810年：イダルゴ神父によるスペインからの独立戦争開始。
- 1821年：独立革命軍がスペイン軍に勝利。
- 1824年：メキシコ合衆国連邦議会が「憲法広場（ソカロ）」と周囲8,830平方メートルに及ぶ地区を「連邦区（Distrito Federal）」に指定。初代大統領のグアダルーペ・ビクトリアにより政令でも指定される。1537年にタクバ、タクバヤなど周辺6自治体を連邦区に加える。
- 19世紀半ば～20世紀初：
アメリカ-メキシコ戦争中の1847年にアメリカ軍が市内に侵攻、占拠は5ヵ月に及んだ。1863年にはフランスの武力干渉によって占領され、オーストリア大公マクシミリアンを皇帝とするフランス軍の支配下に入ったが、1867年にフランス軍を撃退、初めての先住民系大統領であるファレス大統領が市を掌握した。1910年以降のメキシコ革命の動乱時には市街戦の場となった。
- 20世紀：近代的な都市整備が進み、1930～50年にかけて人口が倍増。1968年（東京オリンピックの4年後）には中南米諸国初のオリンピックとなるメキシコシティ・オリンピックを開催。1985年にマグニチュード8.1の大地震がおこり、約3万人が住居をうしない、数千人が死亡する大惨事となった。
- 現在：メキシコ市首都圏合計で2,000万人以上の人口を有する世界でも有数の巨大首都圏となり、毎日約600万台の自動車が通行する交通渋滞の激しい街になっている。そのため、新たな自動車専用道路の建設や地下鉄路線網の整備（現時点で全長200km、毎日420万人の乗客を運搬）、バス専用レーンを用いたメトロ・バス網の整備、トロリーバス網の整備、自転車専用レーンや自転車レンタルスタンドの整備など、交通事情改善に向けたインフラ整備を推進している。



首都メキシコシティの重要性

メキシコシティは国内総生産（GDP）の20%近くを生み出す経済の中心地であるだけでなく、多くの有名大学や研究機関、博物館・美術館等が存在する教育や文化の中心地でもある。首都だけに商業、医療などの各種インフラが整っている。メキシコシティの今をデータで紹介する。

比較項目	全国	メキシコ市(注)	シェア	備考
面積	1,964,375 km ²	1,485 km ²	0.1%	東京23区は622km ²
人口 (2010年暫定値)	11,232 万人	887 万人	7.9%	首都圏では2,014万人、東京23区は884万人、東京都全体は1,305万人
人口密度 (同上)	57.2 人/km ²	5,973 人/km ²	-	東京23区は14,222人/km ²
就業者数 (2010年第3四半期)	4,448 万人	822 万人	18.5%	周辺からの出稼ぎが多く、就業者数は経済活動人口より多い。
国内総生産（GDP） (2008年)	84,814 億ペソ	15,276 億ペソ	18.0%	1ドル=11.1297ペソ（2008年平均、以下2項目も同じ）
鉱工業生産 (2008年)	26,983 億ペソ	2,273 億ペソ	8.4%	鉱工業生産はメキシコ市GDPの約15%
サービス産業生産 (2008年)	54,576 億ペソ	12,992 億ペソ	23.8%	サービス産業はメキシコ市GDPの85%。国内サービス産業の25%弱が集積。
学校の数 (2008年)	236,003 校	9,023 校	3.8%	
大学（大学院含む）の数 (2008年)	1,458 校	101 校	6.9%	首都だけに大学の数は多い。
中学校卒業生数/年 (2008年)	225.6 万人	15.2 万人	6.8%	
大学卒業生数/年 (2008年)	66,933 人	8,820 人	13.2%	他州出身でもメキシコ市の大学を卒業する者も多い。
大学学位取得人口 (2005年)	834.2 万人	130.8 万人	15.7%	人口に占める大学卒割合が国内で最も高い。
病院・診療所の数 (2008年)	21,334 箇所	584 箇所	2.7%	人口を考えれば病院数は多くないが、大規模な病院が多い。
医者の数 (2008年)	181,639 人	23,898 人	13.2%	
公設市場の数 (2008年)	2,354 箇所	318 箇所	13.5%	
露天市の数 (2008年)	5,734 箇所	1,449 箇所	25.3%	近代都市だが伝統的な露天市も多い。
ウォルマートの店舗数 (2010年11月)	2,115 店	650 店	30.7%	レストラン店舗（VIPs）を含む。
銀行の支店数 (2010年9月末)	11,380 支店	1,833 支店	16.1%	金融インフラは充実。
キャッシュ・イサンスター数 (2010年9月末)	35,639 台	5,803 台	16.3%	
住宅の数 (2010年暫定値)	2,861.8 万戸	246.3 万戸	8.6%	
1世帯当たり構成員数 (2005年)	4.2 人/戸	3.8 人/戸	-	大都市だけあって核家族化が進む。
児童遊戯施設の数 (2008年)	4,034 箇所	482 箇所	11.9%	

(注) 「連邦区」(Distrito Federal) のデータであり、周辺市町村を含む「メキシコ市首都圏」ではない。

(出所) 国立統計地理情報院 (INEGI), 国家銀行証券委員会 (CNBV) 発表データなどから作成



メキシコ市民の購買力は？

メキシコの消費者の特徴は所得格差が大きいことだ。個人所得税の累進税率が富裕層に有利になっていること、相続税がないことなど効率的な所得分配政策が欠如しており、独立から200年を経ても経済社会階層間の隔たりが大きい。したがって、同じものが同じやり方で全ての層に売れるわけではなく、所得階層別に売れるものと売する方法を変える「階層別マーケティング」がメキシコ市場で成功をおさめるためのカギとなる。

経済社会階層別の構成比をみると、通常は人口が多い都市部の方が農村部より富裕層は多くなるが、メキシコシティは巨大な首都であり、貧しい地方農村からの出稼ぎも多いため、グアダラハラやモンテレイなど他の大都市より貧しい層の割合が高い。

社会経済階層別世帯構成 (2008年, 平均所得のみ2005年のデータ)

階層	メキシコ市 首都圏	グアダラハラ	モンテレイ	人口40万 ～250万	人口5万 ～40万	全国	平均所得
A/B 富裕層	6.1%	9.8%	8.8%	7.8%	5.9%	7.2%	7,800～
C+ 準富裕層	12.2% ¹	5.9%	16.7% ¹	5.1%	13.1% ¹	4.0%	3,212～7,800
C1 中間層	6.4%	21.0% ²	0.2%	18.9% ¹	6.0%	17.9% ¹	,064～3,212
D+ 中間層	38.2% ³	7.1%	35.0% ³	3.9%	35.1% ³	5.8%	624～1,064
D/E 貧困層	27.1% ¹	6.3%	19.4% ²	4.2%	29.7% ²	5.0%	0～624

(注) AMAIの階層分類は所得水準ではなく、世帯の経済的社会的特性に関する10の質問項目に対する回答内容に基づきポイント分類している。したがって所得水準はあくまで目安に過ぎない。

平均所得はペソ建てのオリジナルデータ(2005年)を期中平均レートでドル換算した。

(出所) メキシコ市場・世論調査機関協会 (AMAI)

耐久消費財等の普及率でみると、都市部だけあってほとんどの商品とサービスについて普及率が全国平均より高い。自動車の普及率は農村部で利用されるピックアップ・トラックなどの普及率が低いいため全国水準より低い。乗用車の普及率だけでみるとかなり高い。

耐久消費財・サービス等世帯普及率 (2008年)
(単位: %)

商品・サービス名	メキシコ市	全国
自動車	41.0	43.6
うち乗用車	37.1	28.5
テレビ	98.9	93.1
オーディオ機器	92.1	83.0
DVDプレーヤー	75.4	55.8
ミキサー	95.6	82.9
電子レンジ	62.5	43.5
冷蔵庫	93.1	82.8
洗濯機	61.1	53.2
アイロン	95.3	84.0
電気掃除機	17.9	8.4
パソコン	38.5	23.8
ビデオゲーム機	20.2	12.6
クレジットカード	28.8	19.4
固定電話	72.5	46.4
携帯電話	67.5	56.9
ケーブル・衛星テレビ	26.5	25.1
インターネット	24.1	14.5

(出所) INEGI 「家計調査 (ENIGH) 2008」